

「結婚等に関する県民意識調査」の結果について【概要版】

アンケート調査

1 趣旨

結婚・出産に関する意識調査を実施することにより、未婚化・晩婚化及び少子化に対する施策展開の基礎資料とするもの

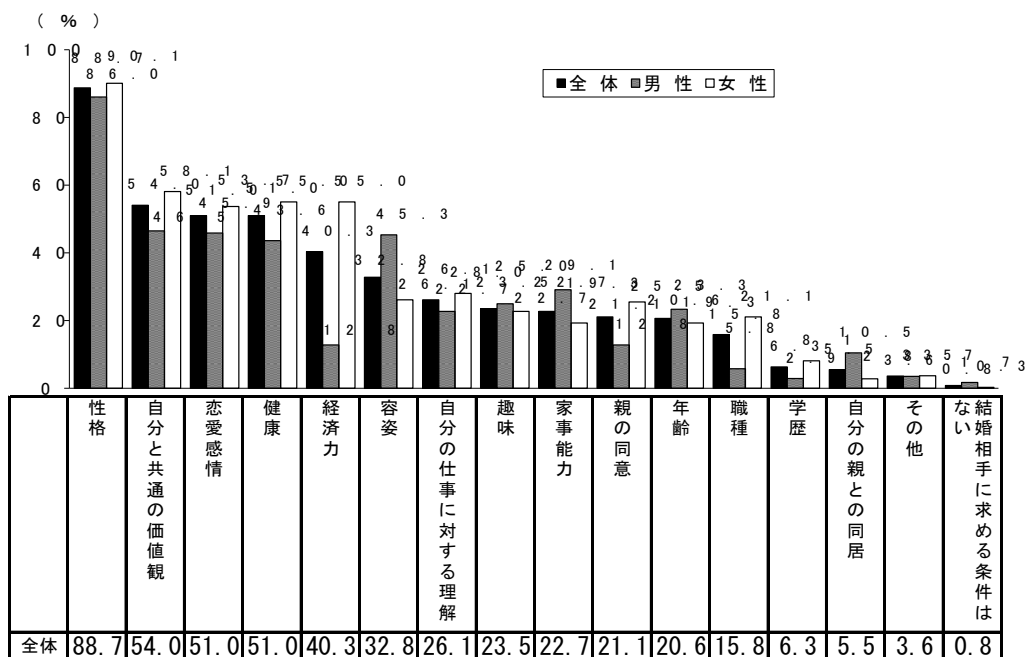
2 調査対象

- (1) 年代等 富山県在住の20代、30代の男女
- (2) 対象数 2,000人
- (3) 調査期間 平成23年12月27日(火)～平成24年1月30日(月)
- (4) 回収数 519(回収率:26.0%)
- (5) 有効回答数 515(既婚290、未婚225)

3 結果

- (1) 将来結婚したいか(未婚者のみ) 結婚したい90.2%
- 内訳 {
 すぐにも結婚したい 19.1%、2～3年以内に結婚したい 23.1%
 いずれは結婚したい 48.0%、結婚するつもりはない 9.3%
 }

(2) 結婚相手に求める条件

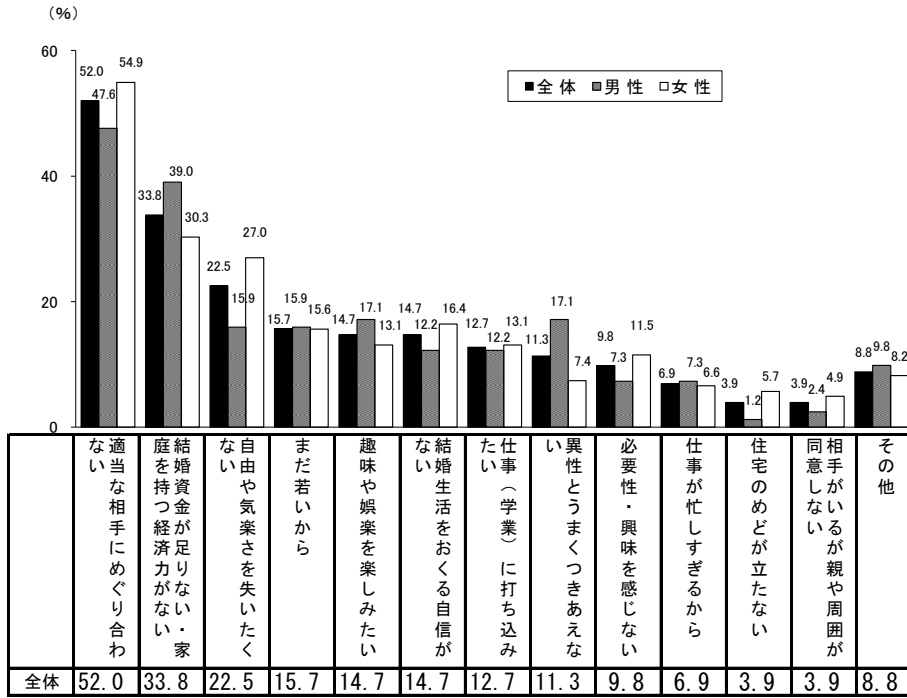


全体では、「性格」が88.7%、「自分と共通の価値観」が54.0%、「恋愛感情」「健康」が同率で51.0%の順となっている。

男女間で差異が大きいのは、「経済力」で男性12.8%に対し女性55.0%と女性が42.2ポイント上回っている。「自分と共通の価値観」でも男性46.5%に対し女性58.1%と女性が11.6ポイント高い。

一方、男性が女性を大きく上回ったのは「容姿」で、男性45.3%に対し女性26.1%と、19.2ポイント上回っている。

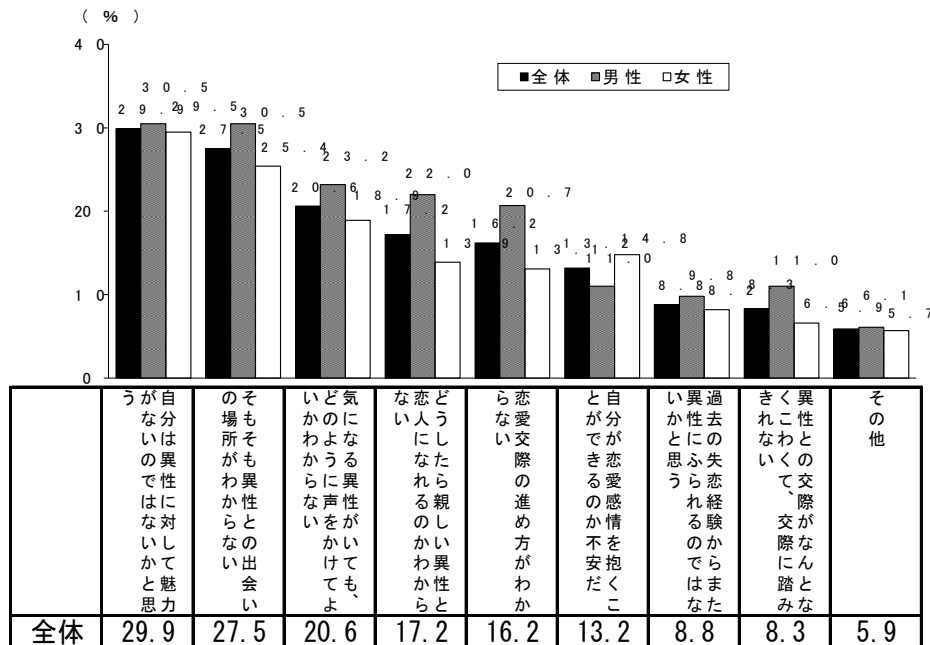
(3) 結婚していない理由（未婚者のみ）



全体では、「適当な相手にめぐり合わない」が52.0%と最も高く、次いで「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」33.8%、「自由や気楽さを失いたくない」22.5%となっている。

男女間で差異が大きいのは、「自由や気楽さを失いたくない」男性 15.9%に対し女性 27.0%や、「異性とうまくつきあえない」が男性 17.1%に対し女性 7.4%となっている。

(4) 異性交際の不安（未婚者のみ）



全体では、「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」29.9%を筆頭に、「そもそも異性との出会いの場所がわからない」27.5%、「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない」20.6%が上位となっている。

異性と交際する上で不安があるとした人の割合は66.2%となっている。

(5) 結婚支援への要望

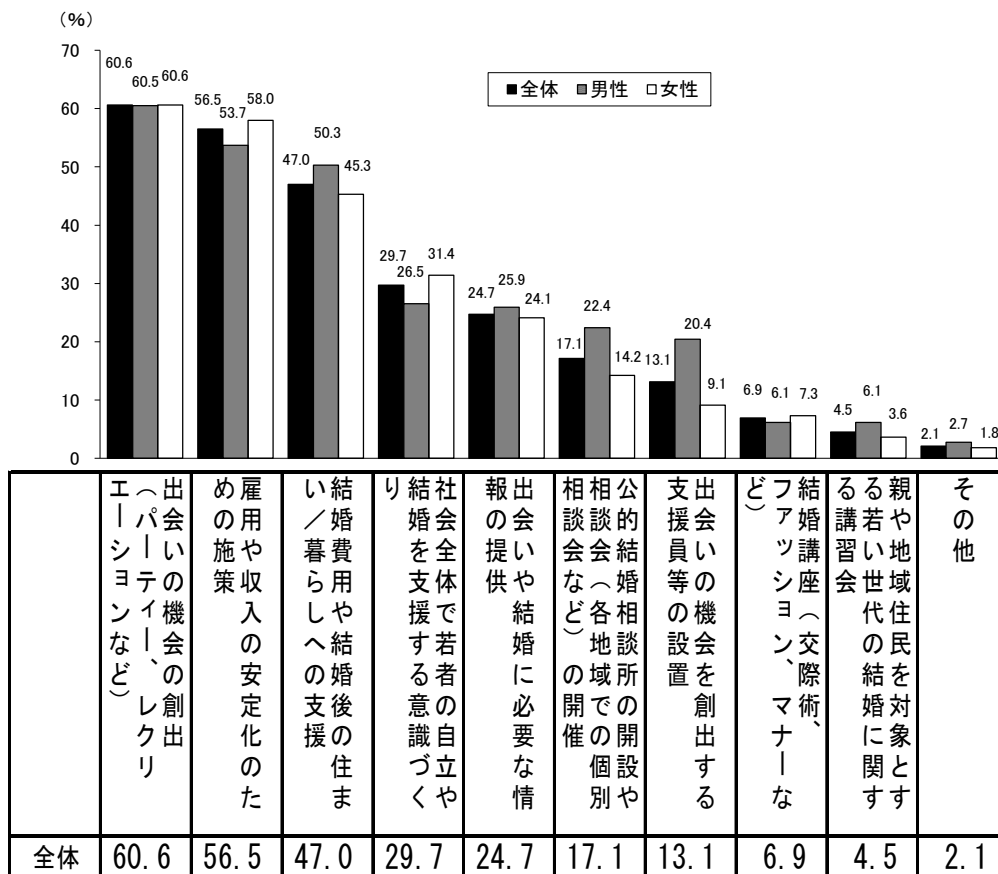
①結婚を支援する施策（事業）を県や市町村が取り組んで欲しい 77.2%

積極的に取り組んで欲しい	32.2%	} 77.2%
どちらかといえば取り組んで欲しい	45.0%	
どちらかといえば取り組むべきではない	9.7%	
取り組むべきではない	5.8%	

②結婚を支援する施策（事業）をNPOなどの民間団体が取り組んで欲しい 76.9%

積極的に取り組んで欲しい	28.9%	} 76.9%
どちらかといえば取り組んで欲しい	48.0%	
どちらかといえば取り組むべきではない	10.3%	
取り組むべきではない	5.6%	

(6) 結婚支援策で必要な取組み



全体では、「出会いの機会の創出（パーティー、レクリエーションなど）」60.6%、「雇用や収入の安定化のための施策」56.5%、「結婚費用や結婚後の住まい／暮らしへの支援」47.0%の順となっている。

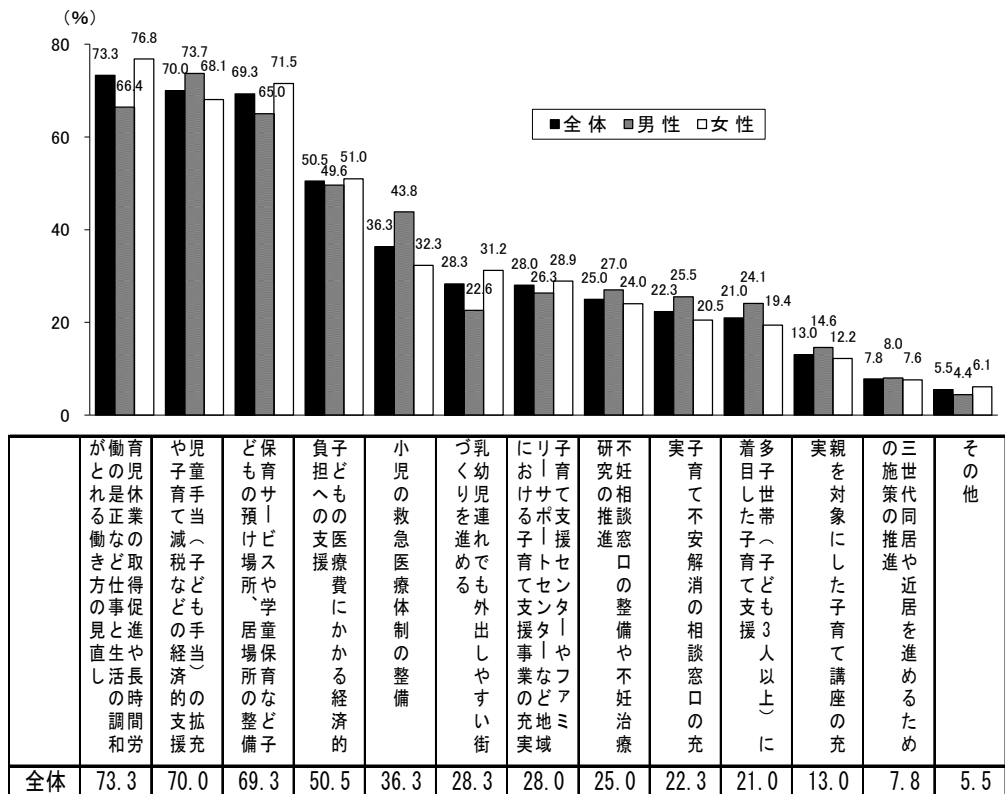
(7) 「子どもが欲しい」「もう1人子どもが欲しい」という気持ちがあるか

ある	49.7%	} 肯定的 69.1%
どちらかといえばある	19.4%	
どちらかといえばない	13.8%	
ない	17.1%	

(8) 国や自治体が、現在の少子化対策を拡充すれば「子どもが欲しい」「もう1人子どもが欲しい」という気持ちになるか

そう思う	45.6%	} 肯定的 77.6%
どちらかといえばそう思う	32.0%	
どちらかといえばそうは思わない	12.0%	
そうは思わない	10.3%	

(9) どのような政策を拡充すれば「子どもが欲しい」「もう1人子どもが欲しい」という気持ちになるか



全体では、「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」73.3%を筆頭に、「児童手当（子ども手当）の拡充や子育て減税などの経済的支援」70.0%、「保育サービスや学童保育など子どもの預け場所、居場所の整備」69.3%、「子どもの医療費にかかる経済的負担への支援」50.5%の順となっている。

男女間で差異が大きいのは、「小児の救急医療体制の整備」男性43.8%に対し女性32.3%や「乳幼児連れでも外出しやすい街づくりを進める」男性22.6%に対し女性31.2%となっている。

個別ヒアリング

1 趣旨

郵送によるアンケート調査に加え、結婚等についての意識を掘り下げて把握するもの

2 調査方法

グループインタビュー（6グループ）及び個別面談

グループインタビューは、アンケート回答者の中から既婚男性、既婚女性、未婚男性、未婚女性ごとに実施

3 調査対象

富山県在住の20代、30代の男女 計35名

4 調査実施日

平成24年1月17日(火)、1月22日(日)、2月18日(土)、2月19日(日)

5 結果

(1) 結婚の意識

既婚・未婚、性別を問わず、理想は「早ければ20代後半、遅くとも30代のうちに結婚すること」である。

未婚の男女ともに、「プランを立ててガツガツしたくない」「まだ遊びたい」「結婚してお金の苦勞をしたくない」という意識が強く、30代での結婚を望む反面、ライフプランを意識した婚活への行動が伴っていないのが実態のようである。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none">・彼女が30歳までに一人目を産んだら楽だと潜在意識にあった。・漠然と結婚は30歳ぐらいと思っていた。	<ul style="list-style-type: none">・結婚を前提で紹介された人と結婚した。・25歳ぐらいまでに結婚できたらと思っていた。子どもが欲しかった。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none">・結婚したら持ち家がよい。・27～28歳で結婚したい。・一緒に遊ぶ男友達がまだ独身のため、何とかかなると思う。	<ul style="list-style-type: none">・30歳までに結婚して子どもが欲しい。・子どもを産んでもお金には困りたくない。・30歳までは自分の夢の実現が先。・自分の遊びに時間を費やしたい。趣味の方が楽しい。
	30代	<ul style="list-style-type: none">・30代前半で結婚したい。世間体もある・35歳位までに結婚したい。・結婚を焦る気分になれない。・子どもは苦手なのであまり欲しくない。	<ul style="list-style-type: none">・実家の近くにいたい。・年齢的に行き遅れ。出産を考えると結婚したい。・婚活はしたいが、ガツガツした感じは嫌。自然に出会いたい。

(2) 結婚相手に求める条件

男性は性格的要素を中心に、女性は経済的要素のほか多くの性格的要素をあげ、男性に比べ条件が厳しい。

長時間労働の男性は女性に仕事への理解を求める一方、未婚女性の中には、結婚相手として帰宅の遅い男性を望まない人がみられた。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・束縛されるのが嫌い。彼女（妻）は干渉しすぎないところがあった。 ・正社員で安定したところで働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正規の雇用。 ・資格を持っている。 ・自分より収入が上。 ・学歴も大事。大卒 ・金銭感覚が合う。 ・家族を一番に考えてくれること。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・料理や家事をしてくれること。 ・何でもいいので働いて欲しい。社会性がなくなるし老け込みそうだから。 ・年齢は同年代から5歳上くらい。 ・将来家を建てることを考えたら、富山出身の方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的なことが1番。非正規等は嫌。 ・手に職はあって欲しい。 ・金銭感覚が合う人。 ・家族関係がうまくいくところがいい。 ・一緒にいてストレスを感じないこと。 ・年下は対象外。年上10歳位まで。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・自営業なので、束縛されると仕事ができない。仕事を応援して欲しい。 ・仕事への理解は大事。研究職なので、平日の帰宅は23時過ぎ。土日も1回は職場に顔を出す。 ・仕事でもいいしサークルでもいいので外に出て欲しい。 ・自分を引っ張って行って欲しい。 ・気の付く人。手のひらで転がしてくれると楽でいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正社員で長く働いている人がいい。 ・収入が安定していて欲しい。 ・親のことが気になるので、転勤がある人は嫌。できれば県内の人がいい。 ・22～23時まで働いている人は嫌。 ・価値観が合うこと。 ・尊敬できる部分を持っている人。 ・会話の受け答えがしっかりくる人。 ・自分と常識的な範囲が似ている人。 ・向上心を持って頑張る力のある人。 ・男の人にリードして欲しい。

(3) 未婚の理由（未婚者のみ）

未婚の理由として、20代は雇用形態を含め、経済的不安定をあげ、30代は、結婚したいと思える人との出会いがなく、自分の時間を楽しんでいる人が多い。

また、「自分の魅力に自信がない」「自分から異性を誘えない」という発言も複数聞かれた。

全体的に、結婚について親から強く言われることが少なく、未婚化を後押ししているのではないかと考えられる。

区分		男性	女性
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的にもゆとりがないと結婚はできないと思う。非正規では難しい。 ・ 収入が今の 1.5 倍くらいになれば、やっていけると思う。 ・ 独身の 30 代でも遊んでいる先輩がいるし、まだいいかなと思う。 ・ 結婚してしまうと遊べなくなるイメージが強い。自由時間がなくなる。 ・ 結婚のメリットがわかりにくい。周囲に、浮気、別居、離婚が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は私も彼も低収入だが、将来的に安定したら暮らしていけると思う。 ・ 自分がやりたい事を先にやりたい。 ・ 彼はいるが、価値観がずれているので、別の人を見つけたほうがよい。 ・ 若くして結婚して、金銭的な苦勞をしたくない。 ・ 親から結婚を強く言われることはない。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚まで考えたことがない。いいなと思える人と巡り合えていない。 ・ 自分のライフスタイルを変えてまで結婚は考えにくい。 ・ 若いときに一度結婚が駄目になってから考えていない。 ・ 自分から話しかけられない。 ・ 同居している親も気を遣って結婚について言わなくなった。 ・ 親が「どうしても結婚してくれ」と言えば考えるかもしれない。結婚に対して前向きでもない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちゃんと結婚したいと思う人に出会えていない。 ・ 結婚を前提として3年付き合った人がいたが、価値観が合わず別れてしまった。 ・ 婚活中。いい人がいたらすぐ結婚したい。 ・ 30 歳を過ぎたら焦りがなくなった。 ・ 自分で社会人サークルを作って趣味の時間が楽しくなった。 ・ 自分に魅力がないからと暗くなってしまうので、あまり考えないようにしている。

(4) 異性交際に対する不安（未婚者のみ）

全体的に、恋愛に対して消極的であることと、異性と付き合うための自信不足がうかがえた。

男性は、積極的に女性に声をかけていないようだ。

女性は、合コンでの成功体験が少ないためかあまり興味がなく、合コンで自信を無くすという意見も聞かれた。婚活パーティーに積極的に参加している30代女性からは、男性の反応が薄く、交際への発展はおろか会話が成り立たないという不満があげられた。

区分	男性	女性
未婚 20代	<ul style="list-style-type: none"> ・富山の子はノリが良くない。女の子が夜出るのに不便なのかなと思う。 ・合コンに行っても、アドレス交換しないまま終わりというのが半分以上。 ・自分は草食系だと思う。彼女がしゃべらない状況に慣れてしまった。 ・転職がある仕事なので、「転職あるけどいい？」と聞きづらい。 ・正社員でないので、収入が激しく女の子を誘いづらい。 ・アプローチする時は不安。武器はない。相手がどう思っているかわからないし、振られたらショック。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かと出会うためにどこかに行くことに興味がない。合コンには興味がない。 ・合コンに行ってもはいたが、非効率。いい人が少なくて試しがない。 ・富山に出会いの場があるのか疑問。東京と同じ方法で人脈を広げていけるか不安。 ・趣味の関係で人間関係を広げていくのが出会いの場。 ・紹介で知り合うのは、間の人の顔を立えないといけぬ。 ・男性と話す機会があまりなく、何を話してよいか分からず、相手がつまらなくなると不安。
未婚 30代	<ul style="list-style-type: none"> ・今の生活の中で、何とかなるだろうと漠然と思っている。 ・前の恋愛を引きずっているので、今は仕事でいよと思っている。 ・性格上弱気なので自分からはいけぬ。 ・大体フラれるので自分に難があると思っているが、自分を変えられない。 ・社内に独身女性がいるが、自分から話しかけられない。好きになったら、まず身辺を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活パーティーに行っても、会話が広がらない男性が多い。 ・男性の反応が薄くなっている。喋らない。せめてニコニコするとか。一緒にいるだけで辛い。 ・合コンに行ってもダメであれば、自分に自信がなくなってくる。 ・合コンに行っても、他の人がチャホヤさられるだけなので行かなくなった。 ・親戚づたいのお見合いは友達の紹介よりも断りにくい。

(5) 結婚支援

出会いの場を提供するという点で、公的支援事業は概ね賛成されている。県主催に限らず、婚活イベント参加経験者のイベントに対する評価は高い。ただし、参加している男性が消極的である点への指摘が懸念事項である。婚活を前面に出すのではなく、気軽に参加できる趣味のイベントに対する期待が高い。告知が十分でなく、もっと知らせて欲しいという声も多く聞かれた。

区分		男性	女性
既婚	20～30代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いの場ができるならいいと思う。 ・ どんどんやったらいい。民間のものは入会金が何十万円もするので、公的に支援するほうがよい。 ・ 会社の後輩は、彼女を作る段階でダメ。恥ずかしくてしゃべれないというので、もっと頑張れと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身県の合同見合は、すごく楽しかったのでいいと思う。 ・ 出会いだけでなく、食べ歩きやマラソンなど共通の趣味が楽しめるようなイベントがあるといいと思う。 ・ パッと目につくところで宣伝したほうがいいと思う。 ・ 公的なものは安心。 ・ 何を話そうか、どんな服で行ったらいいか、わからないと踏み出せない。
未婚	20代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道会社主催のテーマパークに行くツアーに参加したことがある。先輩は結婚につながった。 ・ 「結婚」「お見合い」だと引くので、「新酒を楽しむ」「大人の遠足」などにして敷居を低くして欲しい。 ・ 独身限定ではなく、ただ遊びに行くという感覚なら気軽。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚講座（交際術、ファッション、マナーなど）は、男性が行くべき。 ・ 趣味のイベントをみんなでやるみたいなのがいい。 ・ もっと告知したほうがいい。 ・ 申込書が面倒そう。堅い感じは嫌。 ・ 結婚に金銭的補助があるといい。 ・ 県や市だと安心感がある。
	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間より信頼性がある。 ・ 出会いの場の創出はよい。既婚者の体験を聞くのも面白い。興味はあるが、行動に移せない。 ・ 誘われたら行くが自分からは行かない。 ・ 個人的なことに自治体が口出しするのはどうか。自治体がやることではないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県主催だと詐欺はないので安心。 ・ 県主催のものに行ったことがある。婚活に行っても、女性の方が生き生きしている。 ・ 結婚相手を探すことだけにこだわったイベントでなくてもいい。 ・ もっと軽いイベントのほうがいい。 ・ 民間のイメージアップ講座のようなものを実施し、男性には服装のアドバイスをしてほしい。